

【教育委員会議事録】平成28年8月定例会

開催日時	平成28年8月30日(火) 9:30～:11:30
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 林 俊作(教育長職務代理者) 吉井 克也 藤井 悦子 松田 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p> 教育部長 石津 幸紀生 教育部次長 伊藤 信彦 教育部次長 森永 亮 教育政策課長 三好 洋一 学校教育課長 井上 成人 教育研修課長 岡田 達生 学校支援課長 宇都宮 義弘 学校保健給食課長 高原 雄二 教育指導監(生徒指導推進室長) 岡崎 茂邦 生涯学習課長 古西 修一 文化財保護課長 沖吉 洋一郎 図書館政策課長 高森 俊明 美術館副館長 中村 美幸 歴史博物館長 町田 一人 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 吉留 徹 下関商業高等学校事務長 富田 智雄 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 山尾 淳子 豊浦教育支所長 戸田 一仁 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課主幹 光吉 計志 教育政策課主査 岡本 誠也 教育政策課主任 松富 潤 </p>
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案審議】	
議案第43号 平成28年度教育予算の補正（9月）について	P 6
議案第44号 平成29年度使用下関市立小・中学校一般図書 の採択について	P 23
【専決処分の事項】	
下関市立図書館運営協議会委員の委嘱について	P 10
【報告事項】	
平成27年度決算について	P 11
下関市立神田小学校の学校統合について	P 6
平成28年度工事請負契約の締結について	P 18
小・中学校教育環境整備事業（扇風機設置）について	P 18
「エドワード・ゴリーの優雅な秘密」展開催について	P 20
工事請負変更契約の締結について	P 20
平成28年度下関市立幼稚園の園児数について	P 21
【その他】	P 22
【閉会の宣告】	P 24

【開会の宣告】

波佐間清（教育長）

皆さんおはようございます。それでは、教育委員会 8 月定例会を開催いたします。

【署名委員の指名】

波佐間清（教育長）

本日の議事録の署名につきましては、「吉井委員」「藤井委員」にお願いをいたします。

本日の日程につきましては、日程 1 の議案が 2 件、日程 2 の報告が、専決処分の報告 1 件と報告事項 7 件と合わせて計 8 件、日程 3 その他となっております。

この日程に関連して、最初に委員の皆さんにお諮りをしたいと思います。「議案第 4 4 号 平成 2 9 年度使用下関市立小・中一般図書採択について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 7 項の規定によりまして、会議を公開しないことといたしたいと存じますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは、議案第 4 4 号につきましては非公開といたします。議事録につきましても、非公開といたしたいと存じますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

ありがとうございます。また、非公開とすることといたしました議案は、日程 3 その他が終わった後に審議を行うことといたしたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは、そのように進めてまいりたいと思います。それでは、よろしくをお願いいたします。

【教育長報告】

波佐間清（教育長）

それでは、議案の第 4 3 号の審議に入る前に、教育長報告をしたいと思います。ページは 2 ページになります。

今年の夏は大変暑くて、皆様方も暑さで大変だったと思います。また、夏のリオデジャネイロのオリンピックもあって、寝不足になられた方もおありではないでしょうか。応援に熱が入った方もあるし、下関出身の原沢選手が銀メダルや山口県の石川選手や大野選手も活躍され、私たちも感動を一緒に味わうことができたと思いがしているところであります。

さて、教育長報告であります。最初は福島県の伊達市の市長さんをはじめ、子供たちの交流会がありました。これは、伊達市の市長さんをはじめ下関市の副市長、それから美祢市の市長さんもお出席をいただいて、子供たちが 7 月 2 5 日から 3 1 日まで下関に来て交流をしたということでもあります。この交流事業は、昨年度から開始され、昨年度は吉母小学校の子供たちと一緒に夏祭りや地引き綱等もいたしました。今年、美祢市の市長さんが懇親会にも交流会にもご出席をいただいたのは、美祢市にも観光していただく運びとなつて、そういう意味で交流を一緒にやったというところがあります。伊達市と美祢市も歴史的なつながりもあるということで、下関、美祢市、そして伊達市の交流を続けているという状況であります。特に伊達の子供たちは外でなかなか

か思い切って遊べないという事情があるために、少ない子供たちではありますが、こちらに来て、約30人くらいだったと思いますが、交流をして、思い切り外で交流をしながら遊ぶということが主な狙いであります。

それから、亀山八幡宮林間学校開校式・閉校式です。私は8月1日と8月10日の開校式と閉校式に出席をいたしました。臨時ではありますが、この林間学校の校長を仰せつかっておりますので、こういう形で出席をさせていただきました。100人くらいの子供たちですが、近隣の子供たち、特に養治、文閑、名池、王江の小学校からの子供たちが中心であります。幼稚園から小学校6年生まで、校長先生方もこの会に参加をされております。生涯学習課の指導主事も講師として参加をいただいています。最後の10日の日は表彰をしているということで、後の日は教育キャンプという形で泊まっております。そういう行事があったということでもあります。

それから、平成28年度の市内の中学生米国派遣研修出発市長表敬訪問ということで、8月1日に市長に出発の報告表敬訪問をいたしました。

それから、平成28年度下関市中学生米国派遣研修事業ということで、8月3日から9日の間、サンフランシスコとピッツバーグ市を中心に、8人の中学生と我々訪問団、私が団長で高野さんという国際課の主事が関係者ということで一緒に行きました。サンフランシスコでは、在サンフランシスコ日本国総領事館訪問やカリフォルニア大学のバークレー校見学、科学博物館見学をしました。ピッツバーグ市ではホームステイを中学生はしたわけですが、市内の中学校、高等学校の見学、市議会訪問、警察署訪問、それからふぐの銅像を寄贈をしておりますところの見学をしました。市議会の場所では、私が茶道のデモンストレーションを行いました。中学生たちにも浴衣を着てもらって、お運びをお手伝いいただき大変喜ばれました。それから最後の日にプールパーティーというのがあって、日本文化を紹介するというので、習字、それから空手の組み手、女子相撲をやっている生徒がいまして相撲、そして浴衣を着ておりますので浴衣の着付けをしました。それから、書いてはおりませんが、日本文化の紹介をいたしました。市議会では、下関の文化・歴史を写真や絵を使って紹介をいたしました。高校に学校訪問したときには、高校生向けに同じものを英語で紹介し、大変下関のことを理解をいただけたところであります。

私の「未来への風」にも書きましたけれども、中学生たちにとって、こういう経験を若いときにするというは非常にインパクトを与えるもので、子供たちはホームステイをしながら向こうの方々と交流ができたこと、こういう経験は何物にも変えられない素晴らしいことだなと思っております。

私自身の感想としては、アメリカ自身が大変大きな国で、そのスケールの大きさ、それから人間性に触れた感動体験がたくさんできたのではないかと思います。それから、サンフランシスコの科学博物館では、様々な理科学的な原理原則を使った博物館でありましたが、そこで100種類以上の色々なイベントがありまして、こういう発想をすることができる体験は子供たちにとっては非常に大切な体験になるという印象を持ちました。それから、中学校・高等学校を訪問しましたが、大変広大な敷地で校舎も大変新しいものでした。1校に3,000人の高校生がいるということで、広大なところでした。特に印象に残っているのは、マーチングバンドの練習を200人の団員が一糸乱れぬ隊形でやっていたことで、彼らはイギリスに行って披露したこともあるというようなことも話しておられました。また、カリフォルニア大学のバークレー校を訪問したのですが、大学の図書館も非常に充実しており、世界的な研究へ貢献しているということを感じました。また、中学生のホームステイの意義ですが、これは家族との英語による心の交流の活動ということで、本当にこの活動は素晴らしいものであると思っております。特に国際ソロプチミスト東下関から、団員一人に5万円の補助があるということは、これに行くことに対しても大変ありがたい補助であります。来年で一応5年間という区切りなので、終わりということですが、また野口元委員さんを通じて、さらに続けていただきたいと思いますところでもあります。話せばまだまだありますが、このぐらいにしておきたいと思っております。

それから、次の3ページに、帰国報告ということで市長に帰国の報告をいたしました。中学生たちも自分たちの体験の話をしました。今週の土曜日に、全体の報告会をこの教育センターで行う予定にしております。

それから、下関市教育祭であります。第12回ということで8月18日午後、海峽メッセで教

育委員さんも出席をしていただき、これを見ていただきました。川中中学校の研修体制～日本一学びが好きな学校への道～ということと、小学校英語の活動におけるALTの効果的な活用ということで、この2つの実践発表をしていただきました。見られたように川中中学校の研修、それからALTが今回全員前に出て紹介をいたしましたところ、どよめきが起こるぐらいインパクトがあったのかなと思っております。私の教育長メッセージの中でも、ALTの増員について触れましたが、今後英語教育に力を入れていく方向を、教職員一同が感じられたのではないかなと思っております。また教育講演会では、「つまずいたっていいじゃないか にんげんだもの ～父相田みつをを語る～」という演題で、相田一人さんの講演がありました。大変感動的な講演で90分間があつという間でした。

それから、2016朝鮮通信使行列再現事業歓迎夕食会と書いてありますが、8月20日にシーモールパレスで釜山の市長さんをお迎えして、朝鮮通信使の行列、これのお疲れと訪問の歓迎ということで会がありました。翌21日は、まだ開館していませんが、長府の新博物館に釜山の市長さんが来られまして、来館第1号ということで、町田館長の解説によって朝鮮通信使の資料を見学していただきました。時間があればもっともっとお話をさせていただきたかったのですが、約30分ぐらいでありましたけれど、見学をしていただいたところです。町田館長、ありがとうございました。私が挨拶のときに、「私は韓国の歴史ドラマが大好きだ」とお話をしたところ、市長さんは、「私は日本の大河ドラマが大好きです。」と返していただき、なかなかユーモアがある方でした。市長さんとの交流の挨拶も結構ジョークを言いながら、とても和ましていただいたところであります。その日の午後は、韓国との交流の夕べというのがあるって、我々教育委員会からも8人が出席をしました。私も出席させていただいて、K-POPを聞かさせていただいて、韓国の文化に触れたというところでもあります。

最後に、中高生のための薬物乱用防止セミナーが8月23日に勝山公民館でありました。中高生がたくさん来ておまして、薬物防止ということで大事な講演がありました。薬物については大事なところでもありますので、この辺の啓発をさらに進めていかなければいけませんので、そういうセミナーがあったというところでもあります。この中で、下商の生徒と豊田中学校の生徒が薬物防止についての発表をしておりました。大変いい発表でありました。

以上で私の教育長報告を終わりますが、何かご質問等がありますでしょうか。吉井委員。

吉井克也（教育委員）

質問ではありませんが、教育祭では、私は相田先生の講演は残念ながら用事があって聞けませんでした。1番後ろの席でそれまでは全て拝聴しました。皆素晴らしかったのですが、教育長さんのメッセージは、私は格別に素晴らしかったと思いながら聞かせていただきました。特にパワーポイントで画面に「感謝」と2文字が映されて、先生方の平素の努力に対する心からの労い、感謝の言葉を述べておられました。会場の空気が変わっていった感じが私自身は凄く感じられました。先生方も喜んで、元気を出して帰られたという思いがしました。本当に素晴らしかったなと思います。以上です。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。他にございますか。よろしいですか。はい、松田委員。

松田まさ子（教育委員）

今週の土曜日に、中学生の米国派遣の報告会があると言われてましたが見ることはできるのですか。

波佐間清（教育長）

どうぞ。昼の14時からです。このセンターで行います。中学生が全員発表いたします。もちろん私も発表しますが、親御さんや学校の校長先生も来られる予定になっております。自由参加ですので、どうぞ聞いていただければと思います。ありがとうございました。他にございますか。

(ありません)

波佐間清（教育長）

よろしいですか。それでは、ないようですので日程1の議案審議に入りたいと思います。

【議案審議】

議案第43号 平成28年度教育予算の補正（9月）について

【報告事項】

下関市立神田小学校の学校統合について

波佐間清（教育長）

それでは、「議案第43号 平成28年度教育予算の補正（9月）について」及び報告事項「下関市立神田小学校の統廃合について」、石津部長、お願いします。

石津幸紀生（教育部長）

「議案第43号 平成28年度教育予算の補正（9月）について」ご説明を申し上げます。6ページをお開きいただきたいと思います。

歳出予算からご説明申し上げます。第10款 教育費は6,100万5,000円を増額補正しようとするものでございます。

内容であります。第1項 教育総務費 第2目 事務局費一般管理業務の増額2,776万9,000円のうち、400万円につきましては、下関市立神田小学校と下関市立桜山小学校の統合に関するものであります。神田小学校の閉校式の開催及び物品の移転等に要する経費を増額するものでございます。

次に節の工事請負費とありますけれども、この工事請負費に計上しております1,914万4,000円のうち、1,000万円につきましては、幸町にあります旧第四幼稚園について解体撤去工事中に基礎コンクリートの下部に松杭が存在していたこと、及び地下の基礎コンクリートの一部が旧幼稚園の敷地の外の側溝の真下に設置されていたことが判明をし、その撤去費用等を増額するものでございます。委員の皆様にはあらかじめ旧第四幼稚園の配置図、及び基礎及び側溝断面図という1枚の図面をあらかじめお配りしていると思いますけれども、この配置図の上の方の施工範囲というところを見ていただきますと、松杭というのが直径が20cmくらいで長さが7mぐらい、こういった松杭が1カ所当たり5本10カ所合計50本を掘っていく中で、そういった松杭があることが判明をしました。それから、配置図の図面の右下、基礎及び側溝断面図というのがありますけれども、断面図の中にコンクリート基礎撤去というところがありますが、このコンクリートの基礎の一部がこの敷地境界線とありますが、その境界線の外側、今側溝がありますけれども、その側溝の下に、この基礎コンクリートの一部があるということが掘っていく中でわかりました。ついては、こういった松杭及び基礎コンクリートを撤去するために増額補正1,000万円しようというものでございます。

続きまして、委託料ですが、446万9,000円のうち測量委託として124万2,000円、工事請負費1,914万4,000円のうち施設整備工事として914万4,000円、補償補填及び賠償金338万3,000円のうち移転補償として61万4,000円につきましては、今年の5月に大雨により法面の一部が崩壊をいたしました豊北町の特牛にあります旧神田公民館の法面改修に要する経費を今回増額するものでございます。この法面の崩壊については、当委員会でもご報告をさせていただいたところであります。隣接して民家があるということで、できるだけ早く復旧工事をする必要があるということで既定の予算を流用して工事をするための測量委託であるとか、その工事をするために支障となる軒や梁のコンクリート等を移設するための移転補償、あるいは工事請負費については、既定予算を流用して既に執行しております。工事につきましては、この8月1日に契約を結びまして、工期は8月2日から11月21日までの工期で、すでに現地では工事に着手をしているところであります。今回、既定の予算を流用して執行しておりますの

で、この9月議会におきまして流用いたしました、今申し上げました経費を補正いたしまして、流用戻しをするという流れになっております。

それから次に、補償補填及び賠償金に計上しております338万3,000円のうち、276万9,000円につきましては、今年4月に個人の方より遺贈を受けました1,002万5,461円のうち、法定相続人からの遺留分減殺請求に対応する経費を増額するものでございます。この点については、また後ほど別なペーパーで詳しくご説明申し上げたいと思います。

続きまして、第2項の小学校費です。第2目の教育振興費教材整備推進業務の増額650万円につきましては、先ほど申し上げました遺贈に伴う小学校図書購入費を計上しております。

続いて、第7項の社会教育費です。第3目の文化財保護費の増額2,598万円につきましては、旧下関英国領事館の隣接地を公有化することにより、旧領事館及び唐戸地区の歴史的景観の質的向上を図るものであり、土地購入費、建物移転補償費を増額しております。この点につきましても、事前に委員の皆様にはお配りをしております、公有化事業のペーパーをご覧いただきたいと思っております。この旧英国領事館の隣接市の公有化事業につきましては、昨年11月に、このビルの所有者の代理人の方から市が望むのであれば市に売却してもいいという相談がありました。そういった相談を受けまして、当時の文化財保護課長である町田館長、それから4月からは沖吉課長が、この代理人と交渉してまいりまして、このたび売却の道筋がつかまりましたので、今申し上げました2,598万円を増額補正して、市が取得をしようというものでございます。事業の概要のところを見ていただきますと、唐戸町3番地の2に所在する建物、昭和32年9月に登記をされた古い3階建ての鉄筋コンクリートづくりの建物でありますけれども、このビルについて建物移転補償によりまして、所有者による解体除去後、土地購入を行い、市が公有化をしようとするものであります。土地の広さは、公有化の対象物件が書いてありますが、敷地面積は約39㎡であります。更地として取得後は、ここは駐車場がございませんので、駐車場の用地として確保していこうと考えているところでございます。土地購入費として388万円、それから建物の移転補償費として2,210万円を要求し、議会にお諮りをしているところでございます。

それから第7項の社会教育費の第4目の公民館費の一般管理業務の増額75万6,000円につきましては、遺贈に伴う公民館の児童図書購入費用を計上しております。先ほども申し上げましたように、今回遺贈ということがございましたので、この遺贈及び遺留分の減殺請求についてというペーパーをつくっておりますので、このペーパーに沿ってもう少し詳しく、今回の補正内容についてご説明をさせていただきたいと思っております。

概要ですが、昨年12月22日付けで遺贈者の●●●●氏の遺言執行者から下関市に対しまして、小学校の図書室並びに公民館の児童図書購入資金に充ててほしい旨の遺贈の申し出がございました。その後、今年6月1日付けで法定相続人、これは配偶者ですけれども、●●●●氏から当該遺贈にかかる遺留分の減殺請求があったため、法定相続人に遺留分減殺分を支出するとともに、あわせて遺言者の意思を尊重し、小学校及び公民館の児童図書を購入しようとするものでございます。遺贈とは、遺言で財産の全部または一部を法定相続人及び遺贈者に無償で贈与することで、今回は財産の一部でございます。現金を市に遺贈をしましようということでありました。遺留分の減殺請求とは、法定相続人、兄弟姉妹を除く配偶者でありますけれども、配偶者には、遺言によっても侵し得ない遺留分という最低限度の遺産に対する取り分、2分の1が保証されております。この遺留分を請求する権利のことを遺留分減殺請求ということになります。

経緯といたしましては、遺言者の●●●●氏は昨年9月17日にお亡くなりになりまして、昨年12月22日遺言執行者より遺贈の申し出が市にありました。遺贈の内容は法定相続人が4分の1、それから遺贈者、下関市4分の1、その他1個人と2法人に対して現金についてのこういった割合での遺贈の内容でありました。今年4月11日に下関市が遺贈の受け入れをしております。金額でいいますと、3のところにありますけど、下関市は1,002万5,461円遺贈を受けております。その後、6月1日に法定相続人である●●●●氏から、先ほど申しました遺留分の減殺請求書の提出があり、7月6日に法定相続人と確認書を取り交わしております。下関市は4月に1,000万円余りを受け取っておりますけれども、この遺留分の減殺請求額、下関市が支出すべき金額は276万8,966円になります。その遺留金額から減殺請求額を引いた残りが725万6,495円になりまして、この残ったお金で遺言のとおり小学校及び公民館の図書を

購入しようというものでございます。1枚めくっていただきまして、今回の9月補正の内容と今後の対応というところですが、遺贈金額が先ほど申しました4月に1,002万5,000円を受け入れておりますので、歳入に教育総務費寄附金276万9,000円、それから小学校費寄附金650万円、それから社会教育費寄附金75万6,000円をそれぞれ歳入に計上しております。そして、遺留分減殺請求額が276万9,000円ですから、これを歳出予算の目 事務局費 節 補償補填賠償金に計上しております。9月議会でお認めをいただきましたら、10月31日までに法定相続人の●●●●氏に支出をする予定にしております。残ったお金につきましては、児童図書を購入し、市内のすべての小学及び公民館に配布いたします。これが補正の内容でございます。

それから最後に、先ほど教育長からお話がありました、9月補正で関連いたします報告事項の下関市立神田小学校の学校統合につきまして、この点につきましては教育政策課長からご報告を申し上げたいと思います。

波佐間清（教育長）

それでは、教育政策課長をお願いします。

三好洋一（教育政策課長）

教育政策課でございます。それでは、下関市立神田小学校の学校統合についてご報告いたします。資料は13ページ、14ページとなります。下関市立神田小学校につきまして、子供たちにとってより良い教育環境を実現するため、保護者や地域住民の合意に基づき、下関市立桜山小学校との統合を目標とすることが確認されましたのでご報告いたします。

はじめに学校統合の概要でございます。神田小学校と桜山小学校の統合時期は、平成29年4月1日でございます。統合校の校名は下関市立桜山小学校。統合校の位置は現在の桜山小学校の位置でございます。次に今回の学校統合の対象となっている両校の児童数、及び学級数の状況でございます。平成28年5月1日現在、神田小学校の全校児童数は51人、学級数は1、2年生が複式学級となっており、特別支援学級を含めて6学級となっております。また、桜山小学校につきましては、全校児童数198人、学級数は特別支援学級を含めて10学級であります。なお、神田小学校につきましては、仮に統合しなかった場合、来年度は1、2年生、3、4年生、5、6年生の各学年において複式学級が編成されることが見込まれており、いわゆる完全複式化も想定されました。

次に学校統合に係るこれまでの主な経緯についてご説明いたします。3番目でございます。まず平成24年度に神田小学校PTAからのお申し出を受け、教育環境の改善に関する意見交換会・学習会を7月に開催しております。意見交換のテーマは、学校統合でございました。そして、平成27年には神田小学校PTA及び地域住民を対象として、学校統合をテーマに意見交換会を2回開催いたしました。その際、アンケート調査も実施いたしまして、その結果、保護者のうち88%が統合賛成という結果が示されました。そして平成28年度に入り、6月に神田地区の保護者や地域住民代表などで組織される下関市立神田小学校統合検討協議会が設置され、地元としての統合についての協議が開始されました。1月の検討協議会において、桜山小学校との統合を目標とすることが確認されたところです。この結果を受けて、8月2日に統合検討協議会より下関市立神田小学校統合に関する要望書が市長及び教育長に対して提出されました。その写しが資料14ページでございます。本要望書の提出に伴いまして、学校統合に対する神田小学校の関係者の合意が確認されたところでございます。さらにその後でございますが、8月26日、先週の金曜日ですが、神田小学校、そして桜山小学校両校校区のそれぞれの学校運営協議会長とPTA会長、自治連合会長、そして校長それぞれから組織される学校統合に関する代表者会合、これを開催していただきました。この場で神田小学校と桜山小学校の統合の時期や統合校の位置、校名などの基本的事項についてご協議いただきました。その結果、これらについて合意いただいたところでございます。今後9月議会での文教厚生委員会での報告、また12月議会での設置条例の一部改正など行政内部の手続きはございますが、学校統合につきましては正式に決定したというところでございます。なお、先ほどの代表者会合におきまして合意された内容につきましては、

先ほどの統合校の時期といった基本的な事柄のほか学校指定用品、制服や体操服等ですけれども、具体的に申しますと桜山小学校のものを基本としますけれども、神田小学校のものも当分の間、引き続き使用できるといったことや通学路の安全対策、また、メンタル面を中心とした統合校への支援体制の充実、また、これにつきましては要望書にも示されていますが、通学区域の見直し、そして神田小学校の学校用地跡地となりますので、この利用について地元の意見を取りまとめていただく、こういった事柄が確認されたところです。今後、要望書の内容を踏まえて道路課等の関係課と連携・調整を図りながら、両校の円滑な統合に向けて準備を進めてまいりたいと思っております。

平成27年4月の田耕小学校と滝部小学校の統合。そして、平成28年4月の殿居小学校と豊田中小学校との統合に引き続きの統合となりますが、教育委員会事務局といたしましても、子供たちにとってよりよい教育環境を実現するために、今後も学校の適正規模・適正配置に取り組んでまいりたいと考えております。報告は以上でございます。

波佐間清（教育長）

ただいま「議案第43号 平成28年度の教育予算の補正（9月）について」と、報告事項「下関市立神田小学校の統廃合について」報告がありました。何かご質問なり、ご意見がありましたらお願いをいたします。はい。林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

今の統廃合のお話ですけれども、市内の中心部の学校で初めて地元からの発案という良い形でまとまった感じがいたします。市内の中心部には、神田小学校規模の学校がまだ他にも幾つかありますけれども、その辺の進捗状況はどのようになっていますか。

波佐間清（教育長）

はい、教育政策課。

三好洋一（教育政策課長）

市内中心部ということでございまして、学校の適正規模・適正配置基本計画の中では、まずこの他に王江小学校、名池小学校、さらには名陵中学校、この3校でまず小学校を統合し、さらには中学校との小・中一貫教育の導入を目指すということが示されております。現時点におきましては、王江小学校の保護者の方を対象に学校統合に関する意見交換会、これを開催して意見交換を行ったところです。まだ、すぐに学校統合にという方向は示されておられません。保護者の皆さんからは様々なご意見いただいております。いただいたご意見を慎重に検討しながら意見交換会を重ねてまいりたいと考えております。

もう1つ。今回の桜山小学校と神田小学校の統合、これにつきましてはもう1校、関西小学校、こちらも基本計画の中では統合をモデルとして示されております。ですが、関西小学校の学校関係者からは、地元からは関西小学校の存続に向けた要望書が既に提出されているところです。今後、事務局といたしましては、このたび神田小学校と桜山小学校が統合するわけですから、そういった情報提供を検討したいと考えております。旧市内、中心部につきましては状況は以上でございます。

波佐間清（教育長）

よろしいですか。他にございますか。はい、どうぞ。松田委員。

松田まさ子（教育委員）

旧第四幼稚園解体後の跡地利用は決まっていますか。

宇都宮義弘（学校支援課長）

学校支援課でございます。解体工事を終了した後に管財課に移管し、土地の売却という手順で

進んでいくと思います。以上です。

波佐間清（教育長）

まだ具体的なところは決まっていらないのですか。

宇都宮義弘（学校支援課長）

はい。売却という形をとるかだと思います。

波佐間清（教育長）

よろしいですか。他にございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは特にならなければ、議案第43号並びに報告事項の神田小学校の統廃合について、承認としてよろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

報告事項は終了ということにしたいと思います。

議案第44号につきましては、先ほど申したように最後に回させていただきます。

【専決報告】

下関市立図書館運営協議会委員の委嘱について

波佐間清（教育長）

日程2の報告に入ります。まず、専決処分の報告ということで「下関市立図書館運営協議会委員の委嘱について」、図書館政策課、お願いいたします。

高森俊明（図書館政策課長）

図書館政策課でございます。下関市立図書館運営協議会委員の委嘱につきまして、下関市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により平成28年7月1日付けで専決処分いたしましたので同条第2項の規定により、報告いたします。

新しい図書館運営協議会委員の任期は、平成28年7月1日からの2年間、平成30年6月30日まででございます。今期におきまして新しく委員になられました方が3人いらっしゃいます。お1人は梅光学院大学の特任准教授 吉光紀行委員です。この方は図書館学がご専門の先生です。それと下関市立小学校学校図書館部長の坂田哲朗委員です。もうお1人の方は公募委員ですが、藤本博美委員に新しく今期から委員を委嘱させていただいております。その他の委員の方につきましては、前期から引き続き委員を委嘱させていただく形になっております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

ただいま報告がございましたが、委員の皆様で何かご質問がございましたらお願いいたします。

藤井悦子（教育委員）

市民公募による募集で委員になられた方はいますか。

高森俊明（図書館政策課長）

7ページの資料に新しい委員名簿がございますが、その中の第5号委員です。第5号委員とい

うのが市民公募に応募したものであるということで公募委員になっております。

藤井悦子（教育委員）

わかりました。ありがとうございました。

波佐間清（教育長）

その他ございますでしょうか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それではないようですので、本件につきましては報告済みといたします。

【報告事項】

平成27年度決算について

波佐間清（教育長）

続きまして、報告事項に入ります。「平成27年度の決算について」、石津部長、お願いをいたします。

石津幸紀生（教育部長）

平成27年度教育委員会の所管に係る教育費の決算につきましてご報告をいたします。資料の10ページをお開き願います。

大学費、こども育成課及びスポーツ振興課所管分を除く教育費の予算額120億2,932万1,939円に対して決算額は104億8,876万4,403円であります。差額につきましては本年度への繰り越しが8億6,887万9,273円、不用額が6億7,167万8,263円あります。全体の執行率につきましては87.19%であります。それでは各項を追ってご説明申し上げます。

まず、教育総務費は予算額18億878万6,384円に対し、決算額は17億3,268万451円あります。差額の7,610万5,933円のうち、1,747万8,000円は旧第四幼稚園解体撤去工事に係るもので、次年度に繰り越したものであります。不用額は5,862万7,933円で主な理由は教育センター建設工事の入札残によるものであります。

次に、小学校費は予算額31億829万9,000円に対し決算額26億8,890万3,181円あります。差額4億1,939万5,819円のうち、2億1,166万3,600円は小学校耐震補強工事に係るもので、次年度に繰り越したものであります。不用額は2億773万2,219円で主な理由は、小学校耐震補強工事の入札残によるものであります。

続きまして、中学校費は予算額19億2,951万5,000円に対し決算額14億5,426万3,944円あります。差額の4億7,525万1,056円のうち2億3,066万6,360円は中学校耐震補強工事に係るもので、次年度に繰り越したものであります。不用額は2億4,458万4,696円で、主な理由は中学校耐震補強工事の入札残によるものであります。

続きまして、高等学校費は予算額6億189万円に対し決算額5億7,637万5,205円あります。差額の2,551万4,795円のうち1,232万円は下関商業高等学校グラウンド照明設備設置工事に係るもので、次年度に繰り越したものであります。不用額は1,319万4,795円で主な理由は下商職員の人件費が見込みを下回ったことによるものであります。

続きまして、社会教育費は予算額32億1,372万8,555円に対し決算額27億4,634万6,491円あります。差額の4億6,738万2,064円のうち3億9,675万1,313円は新博物館建設事業に係るもので、次年度に繰り越したものであり不用額は7,063万751円であり、主な理由は生涯学習施設費における菊川ふれあい会館太陽光発電システム等設置工事の入札残によるものであります。

最後に保健体育費は予算額13億6,710万3,000円に対し、決算額12億9,019万5,131円であります。差額の7,690万7,869円は不用額であり、主な理由は、保健体育総務費において給食費に係る援助日数が見込みを下回ったこと、及び学校給食共同調理場において賄材料費が見込みを下回ったことによるものであります。

以上、平成27年度決算について報告をいたします。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

波佐間清（教育長）

平成27年度決算について、ただいま概要につきまして報告がありました。このことにつきまして、教育委員の皆様方、詳しい内容、具体的なことについてご質問もあろうかと思いますが、何かありましたらお願いをいたします。それでは吉井委員。

吉井克也（教育委員）

先ほど平成28年度の補正ということで、桜山小学校と神田小学校の統合についてのお話がありました。補正400万円という数字も今お聞きしておりますが、平成27年度は殿居小学校と豊田中小学校の統合がありました。閉校式にも出席させていただきまして、大変、何とも言いえない思いを味わったわけですが、平成27年度の予算の中で、事務局費のところに関係あるのだらうと思いますが、殿居小学校と豊田中小学校の統廃合にかかった経費と言いますか、それはおよそどのくらいだったのだらうかお聞きしたいと思います。

波佐間清（教育長）

はい、教育政策課。

三好洋一（教育政策課長）

殿居小学校と豊田中小学校の学校統合に要した経費でございますが、項教育総務費、目事務局費にて、予算額500万円に対しまして、決算額439万989円となっております。この主な内訳といたしましては、学校統合や殿居小学校閉校式に要した人件費185万円及び物品移転業務不用品処分業務、こういったものの委託料が106万4,880円となっております。

なお、殿居小学校閉校式は教育委員の皆様のご参列のもと、平成28年3月6日に9人の児童と約350人の地域住民等のご参加をいただき、無事とり行うことができました。以上でございます。

波佐間清（教育長）

よろしいですか。他にございませんか。はい、林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

特別支援教育について。障害のあるハンディキャップのある人々に対してかかった経費がどの程度のものなのか教えていただけますか。併せて、もしわかれば健常者の1人当たりに係る経費と、ハンディキャップのある方々に係る経費が今どれ位違うのかということも教えていただければと思います。

波佐間清（教育長）

はい、学校教育課。

井上成人（学校教育課長）

特別な支援を必要とする子供が就学する小・中学校において、生活や学習上の困難を改善・克服するため適切な支援・介助を行う特別支援員122人の配置に必要な経費1億725万1,320円の決算となっております。配置に当たりましては、4人以上在籍で加配教員の配置のない特別支援学級数、それから常時生活介助を必要とする児童生徒数、特別な配慮を必要とする児童生

徒が複数人在籍している通常の学級数等を参考とし、全市的なバランスを考慮したうえ、校内支援体制と学校の状況に応じて決定いたしております。それから2つ目の健常者とハンディキャップのある子供との1人当たりの経費については難しいと思います。

波佐間清（教育長）

ちょっと難しいと。はい。他にございますか。はい、松田委員。

松田まさ子（教育委員）

先日の教育祭の実践発表でもALTの授業を具体的に発表していただいととても興味深くお聞きしました。外国語指導助手の方達の招致に要した経費を教えてください。

波佐間清（教育長）

はい、教育研修課。

岡田達生（教育研修課長）

外国語指導助手に関する経費です。項 教育総務費 目 事務局費にて予算額4,363万円に對しまして4,303万1,092円の決算額となっております。主な内訳といたしましては、外国語指導助手9人分の人件費3,533万1,873円及び住宅使用料409万9,225円となっております。なお、外国語指導助手と担任による外国語の授業のさらなる充実を図るため、平成27年度中に外国語指導助手を1人増員いたしました。以上でございます。

波佐間清（教育長）

はい、よろしいですか。では、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

コミュニティ・スクールの事業で要した経費の内訳を教えてください。

波佐間清（教育長）

はい、教育研修課。

岡田達生（教育研修課長）

コミュニティ・スクールに関する経費でございます。項 教育総務費 目 事務局費にて予算額1,478万円に對しまして、922万1,552円の決算額となっております。この主な内訳といたしましては、報償費としてコーディネーター、すべての小・中学校に配置しております、この謝金446万9,000円、並びに外部指導者謝金88万3,000円となっております。さらに平成27年度から開始されております県からの委託事業、やまぐち型地域連携教育推進事業関連の支出が253万2,251円となっております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

よろしいですか。それでは私から1つ。教育センターの整備についてであります。教育センターの整備について、最終的に全体の事業費、それから建物の建築費の平米あたりの単価等をお示しいただければと思います。はい、教育政策課。

三好洋一（教育政策課長）

それでは教育センター整備についての決算等についてご説明いたします。まず教育センター整備の最終的な全体事業費につきましては、用地購入費約2億5,400万円、これを含めて全体で約12億3,100万円となっております。平米あたりの単価につきましては、建物等の建築費用、こちらが約9億7,700万円、10億円弱ということになっております。そして、この建物の延べ床面積2,917㎡、約3,000㎡ですが、これは割り戻しまして、平米あたりの単価約33万

5,000円となっております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

それでは、他にございましたらお願いをいたします。はい、林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

小・中学校の耐震化については、今回もすごい予算がついておりますけれども、これらの内容について説明いただきたいということと、進捗状況、来年度で終わりでしたか、順調に進んでいるかどうかを含めて説明いただければと思います。

波佐間清（教育長）

小学校、中学校合わせてですね。それでは学校支援課お願いします。

宇都宮義弘（学校支援課長）

学校支援課でございます。まず、資料の10ページの項の項目、上から2番目の小学校費、同じく3番目の中学校費のそれぞれの学校建設費が耐震改修に係る項目でございます。

まず小学校に関しては、決算額は11億8,578万6,805円です。この内訳としましては、耐震工事が14校27件で11億6,729万4,000円。それと非構造部材の耐震工事実施設計業務等が1,532万7,360円。その他事務費が316万5,445円となっております。同じく中学校に関しましても7億4,279万6,135円の決算額です。その内訳としましては、耐震工事が9校16件の7億3,628万7,440円及び非構造部材の耐震工事実施設計業務委託業務が464万4,000円。事務費等が186万4,695円となっております。当然、耐震工事に関しては構造部材ですので、前回の委員会でもご説明いたしましたように、すべて構造体の耐震補強は完了しております。今年度の非構造部材の工事を着手する予定で、2件を除いては一応契約は全部完了いたしました。年内の工事完了に向けて、今工事を着手している状況でございます。それと、同じく耐震の不用額でございますが、全部で小学校に関しては1億5,205万5,595円、その内訳でございますが工事費が1億4,616万5,400円、委託料が428万5,640円、事務費等が160万4,555円となっております。主な不用の額は入札残ということになっております。同じく、中学校に関しても、不用額が工事費が1億8,597万8,600円、委託料が516万3,000円、事務費等が29万1,905円となっておりますが、同じく入札残によるものでございます。以上です。

林俊作（教育長職務代理者）

工事自体は基本的に今年度で全部完了するのですね。

宇都宮義弘（学校支援課長）

耐震に関する工事は今年度で終わります。

林俊作（教育長職務代理者）

翌年度への繰り越しに耐震関係は一切入っていないということでしょうか。2億1,100万円の繰り越しは、耐震以外のものということですね。

宇都宮義弘（学校支援課長）

これは構造体の耐震補強で7月で終わったのですが、今年度から平成28年度に繰り越した構造体の耐震補強工事でございます。

波佐間清（教育長）

他にありましたらお願いします。吉井委員。

吉井克也（教育委員）

先日も山口市でしたでしょうか。いわゆる貧しい子供たちに対して、こども食堂が開設されたというのが大きくニュースにでておりました。山口市だけではなくて、下関でも本当はそういうことを必要としている子供たちがたくさんいるだろうなと危惧をしているわけでありまして。もちろん、下関もそういうご家庭に対しては、就学援助ということで、様々に支援をしているわけでありましてけれども、そんな中で子供たちが生きていくうえで基本的なことにつながるんだと、医療費であるとか、それから食につながる給食費であるとか、主に医療費と給食費の援助に要した費用といたしますか、それを教えていただきたいと思います。

波佐間清（教育長）

はい。学校保健給食課長。

高原祐二（学校保健給食課長）

この資料の予算の費目といたしましては、12ページの保健体育総務費でございます。支出額でございますが、総額として2億2,933万9,937円となっております。内訳でございますが医療費が580人に対して483万7,155円、給食費が5,761人に対して2億2,450万2,782円となっております。以上です。

波佐間清（教育長）

その他ございますでしょうか。はい、松田委員。

松田まさ子（教育委員）

美術館展覧会のことについてです。今回も9月4日のご案内をいただいて、このチラシがすごく一風変わっていてシックな感じでとても気に入っていますごく楽しみにしています。私も国立博物館の東山魁夷展も見に行ったりしましたが、福岡県内の色々な美術館との交流というか、このチラシを配ったりとかして是非宣伝してほしいと思っています。展覧会開催に要した経費と入館者数、観覧料収入についてお願いいたします。

波佐間清（教育長）

はい、美術館お願いいたします。

中村美幸（美術館副館長）

美術館でございます。平成27年度は、特別展を3回、「ボンジュールフランスの絵本たち展」、「御所の花 安野光雅展」、「北海道立近代美術館コレクション選、日本画逍遥展」を開催いたしました。さらに所蔵品展を4回開催しております。これらの開催に要した経費は3,144万6,945円となっております。入館者は平成27年度が6万8,195人でございます。この中には市民ギャラリーの入館者も含んでいますが、そのうち有料の入館者は1万2,394人となっております。それに対する観覧料収入は842万1,000円となっております。展覧会の開催に関する経費に対して入館観覧料の収入で言いますと、約27%の収入になるかと思っております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

はい。よろしいですか。それでは、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

美術作品の購入にかかった費用を教えてください。

中村美幸（美術館副館長）

平成27年度の美術作品の購入予算は100万円でしたが、高島北海の日本画1点を購入しま

して、97万2,000円を支出しております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

はい、よろしいですか。博物館についてちょっとお尋ねしたいと思います。博物館の経費につきまして、主な事業、決算額や不用額、主なものがありましたら教えてください。文化財保護課。

沖吉洋一郎（文化財保護課長）

文化財保護課の沖吉でございます。博物館費についてご説明いたします。博物館費については、長府博物館、それから東行記念館に係る経費が2,413万9,101円でございます。主な内訳は委託料が892万円、それから備品購入費が319万9,000円、それから報酬が747万7,000円でございます。それから考古博物館に関わるものは、4,900万8,046円でございます。主な内訳は、委託料が2,622万7,000円。それから需用費が1,352万8,000円。それから烏山民俗資料館、人類学ミュージアム、豊北歴史民俗資料館に関わるものについては、6,453万1,343円でございます。主なものは、報酬が2,520万円、それから需用費が1,655万7,000円、委託料が1,378万5,000円、それから豊田ホテルの里ミュージアムに関わるものは1,885万3,792円でございます。主な内訳は、委託料が551万1,000円、それから需用費が533万8,000円になっております。不用額が1,238万7,718円発生しておりますが、これは人類学ミュージアムで545万7,000円、それから長府博物館・東行記念館で456万2,000円と大半を占めておりますけれども、この理由については予定しておりましたイベント開催委託経費が不執行となったことや、嘱託職員が中途退職により不用額が生じたためでございます。以上でございます。

波佐間清（教育長）

その他何かご質問がありますか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

昨年度、山口県で行われた世界スカウトジャンボリーで子供たちが素晴らしい体験をしたと思います。その中で下関プログラムでかかった費用と子供たちにどのような効果があったと思われますか。

古西修一（生涯学習課長）

生涯学習課です。よろしく申し上げます。資料は11ページの社会教育費、それから青少年対策費になります。この事業実施に関した経費ということで、予算額が600万円に対しまして598万1,949円の決算額となっております。主な内訳といたしましては、関係団体により結成された実行委員会の委託料、これが594万円となっております。この財源につきましては、山口県市町村振興協会からの全額の補助金となっております。大会期間は7月31日から8月5日、土日を除く5日間でしたが、71カ国から総勢3,151人のボーイスカウトを受け入れることができました。この中で市内各学校、社会教育施設などで様々な特色ある交流が行われました。児童、生徒が世界を身近に感じる大変良い機会になったと思っております。また語学ボランティアとして多くの市民が参加をいただきまして、生涯学習のさらなる推進を図ることができたのではなかったかなと思っております。以上です。

波佐間清（教育長）

他にございますでしょうか。それでは、吉井委員。

吉井克也（教育委員）

図書館教育に関することです。言うまでもなく図書館教育は大事な教育の1つの領域であります。本市も今年度も図書館の司書、教諭の増員ということで非常に今努力をしていることは承知しておりますが、各学校現場からは、まだまだ図書館司書が必要なんだという声も強く聞くわけ

であります。今後どういう見通しを持って、図書館司書を増員をしていかれるのか、これからの見通し等について聞かせていただけたらと思います。

波佐間清（教育長）

今のご質問は学校の図書館司書ということですね。教育研修課。

岡田達生（教育研修課長）

今年度は5人配置ということで、小学校・中学校あわせて11校兼務という形をお願いしております。学校司書については、配置した学校からは図書館から借りる冊数が増えた。それから地域に開放することで地域の方も学校に出向いてくれると大変ありがたく思っていますという声をいただいております。来年度以降につきましては、予算の際に考えていきたいのですが、一気に増員ということはなかなか難しいかもしれませんが、増員に向けて努力していこうと考えております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

はい。他に。林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

先ほどの説明の確認になりますが、次年度に繰り越した1,232万円が、下関商業高等学校グラウンド照明設備設置工事に係るものでしたでしょうか。もう一度説明をお願いします。

波佐間清（教育長）

はい、下商。

富田智雄（下関商業高等学校事務長）

下関商業高等学校の夜間照明改修事業の件でございます。昨年8月ですけれども、台風15号の強風によりましてグラウンドの照明1基が倒壊いたしました。その関係で、他の3基も相当老朽化しているということで、この機会に安全・安心のためにということで全部を改修するということで12月補正予算で決まりました。その経費として、2,000万円を計上しておりました。そして工期が年度をまたぐということで、平成27年度分については年割額として768万円、その残り分1,232万円を平成28年度に繰り越したということでございます。

波佐間清（教育長）

はい、ありがとうございます。先ほど図書館の件がありましたが、中央図書館で図書館の非常勤の嘱託職員を何人ぐらい雇用しているのか、そのうち司書は何人いるのか、そのあたりをお願いします。図書館政策課。

高森俊明（図書館政策課長）

図書館政策でございます。平成27年度末時点で非常勤嘱託職員は62人雇用しております。そのうち40人が司書の職員でございます。以上でございます。

波佐間清（教育長）

40人が司書ということですが、図書館司書の不足はないですか。

高森俊明（図書館政策課長）

ご承知のように、例えば中央図書館は夜9時まで開館しておりまして、開館時間は12時間になっておりますので、シフト勤務による対応が必要になってきております。一見嘱託職員の人数としては多いように見えますが、開館時間中は空白なくレファレンス等の専門的な対応ができるような勤務時間の調整を図っておりますので個々の職員の負担というのは決して小さいものでは

ないと認識しております。また、特に近年、学校からの支援要請も増加傾向にありますので業務量としては増加傾向にあります。図書館政策課といたしましては、できれば司書はもちろんですが、嘱託職員全員の人員増の要望を行っていきたいと思っております。以上です。

波佐間清（教育長）

はい。有難うございました。まだまだお聞きしたいことはございますが、このあたりにしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは本件については報告済みといたします。よろしくお願いをいたします。

【報告事項】

平成28年度工事請負契約の締結について

波佐間清（教育長）

続きまして、「平成28年度工事請負契約の締結について」、学校支援課、お願いします。

宇都宮義弘（学校支援課長）

学校支援課でございます。資料の15ページをお願いいたします。平成28年度工事のうち設計金額が5,000万円以上の請負契約の締結についてご報告いたします。

工事名は、下関市立豊北中学校屋内運動場・武道場非構造部材耐震改修建築主体工事でございます。工事場所は、豊北町大字滝部字幸神1244番地36。受注者は、綾羅木本町にあります株式会社東昇でございます。予定価格は、税込み5,206万6,800円に対し、請負金額は、税込み4,892万4,000円でございます。落札率は93.96%。工期は平成28年7月15日から平成29年1月20日まででございます。入札方法は条件付一般競争入札で、入札参加者は3者でございました。開札日は平成28年7月5日で、契約日は28年7月14日でございます。工事の概要としましては、屋内運動場、武道場の先の熊本地震でもありましたように、地震等で落下の恐れのある吊り天井を撤去することで防災機能強化を図るもので、他に照明器具、吊り下げ式のバスケットゴール、時計、スピーカー、校歌額縁等については落下防止の措置を行います。今年度、実施する非構造部材の耐震改修工事につきましては、小学校が8校、建築主体、電気設備併せて16件、中学校につきましては3校、同じく建築主体、電気設備工事併せて6件の予定でございます。なお、設計金額5,000万円以上の工事について、王喜小学校の耐震改修については、9月上旬に業者が決まる予定ですので、次回の定例会にてご報告させていただきます。

以上、簡単ではありますが、平成28年度工事請負契約の締結について、報告いたします。

波佐間清（教育長）

はい。ありがとうございました。何かご質問がありますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

これについては質問がないということですので、報告済みといたします。

【報告事項】

小・中学校教育環境整備事業（扇風機設置）について

波佐間清（教育長）

続きまして、「小・中学校教育環境整備事業（扇風機設置）について」、学校支援課、お願いします。

宇都宮義弘（学校支援課長）

資料の16ページをお願いいたします。児童生徒が学びやすい学校環境を整備するという目的で、夏の暑さ対策として、小学校、中学校の普通教室、特別支援教室、通級教室に扇風機を設置するものでございます。

事業計画は4か年で、平成28年から31年を事業期間とし、各教室に壁掛け扇風機を3台ずつ設置し、対象となる教室数は平成28年度5月現在、施設台帳上の教室配置で、小学校は602教室、中学校は236教室でございます。

今年度につきましては、小学校は6年生、特別支援学級を優先的に整備し、16校47教室140台を計画し、中学校におきましては3年生、特別支援学級を優先し、20校81教室219台を計画しております。資料にあります、工事契約状況完成日を9月16日としておりましたけれども、この夏休みを利用して工事は完了しております。

今後の予定ですが、平成29年度につきましては、小学校は6年生の残りと5年生の普通教室、中学校に関しては2年生の普通教室を計画しております。年次ごとに学年を下げていく予定でございます。また、毎年5月1日付けの公立学校施設台帳にある教室の配置によって、若干、年度ごとに整備の内容、教室数が変わりますが、特別支援教室、通級教室につきましても同じように台帳に沿った整備を考えております。扇風機の設置につきましては、エアコンと違いまして室温を下げる目的ではございません。風速1メートルの扇風機で体感が1℃下がるということの中で、まず体感温度を下げるということと、空気の循環を促すことが目的でございます。よって、設置した、今年ですと9月になります、学校等にアンケートを実施して、その効果を確認したいと思っております。以上、小・中学校教育環境整備事業についてご報告いたします。

波佐間清（教育長）

この件につきまして、何かご質問がありましたらお願いします。はい、林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

小学校や中学校の全学校全教室に扇風機がつくのが平成31年度で一応完了するということではなかったでしょうか。

波佐間清（教育長）

はい。学校支援課。

宇都宮義弘（学校支援課）

教育委員会として整備いたしますのは平成28年度からの開始で、平成31年度に完了する予定でございます。と申しますのも、学校サイドで独自にPTAの寄付もありますし、特別支援学級は学校サイドで備品として扇風機を購入して設置した事例もあります。そういう状況の中でその不足数分、例えば今既存で普通教室に1台設置してあれば2台追加して計3台を整備することになります。31年までに整備を完了したいと考えております。以上です。

波佐間清（教育長）

はい、ありがとうございます。他にございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

ないようですのでこれについては、報告済みといたします。

【報告事項】

「エドワード・ゴリーの優雅な秘密」展開催について

波佐間清（教育長）

続きまして別紙になると思いますが、「エドワード・ゴリーの優雅な秘密」展開催について、美術館、お願いします。

中村美幸（美術館）

美術館でございます。下関市立美術館で9月8日木曜日から10月23日日曜日まで開催されます、特別展「エドワード・ゴリーの優雅な秘密」展について、ご案内させていただきます。

先ほど、松田委員さんにご紹介いただきましたお手元のチラシをご覧ください。エドワード・ゴリーは不思議な世界観とモノクロームの緻密な線で描かれた魅惑的なイラストで、世界中に熱狂的なファンを持つアーティストです。シュルレアリストの画家マックス・エルンストや、ムーミンの作者トーベ・ヤンソンなどもゴリー作品の愛好家だったと言われていています。あまり馴染みのない作家かと思えますけれども、一言でご紹介しますと、アメリカの絵本作家でございます。日本では、異色の絵本作家として知られておりまして、「ギャッシュリークラムのちびっ子たち」や、「うろんな客」等の絵本が日本語に訳されまして、人気が高まっております。彼の才能は絵本の世界だけでなく、挿絵、舞台のセット、衣装のデザイン、演劇やバレエのポスターなど多彩な制作活動を展開しております。このたびの展覧会は、アメリカを中心に世界各国を巡回した展覧会をベースに、日本国内のコレクションも加え、絵本原画や書籍、資料など約350点を展示する日本初の回顧展でございます。ゴリーの多彩な制作活動を通して、その不思議な魅力を体感していただければと思っております。どうぞ、ご来館いただきたいと思いますと思っております。

以上、ご報告いたします。

波佐間清（教育長）

エドワード・ゴリーの展覧会が9月8日からということでもあります。また皆さん来ていただければと思います。何かご質問がありますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それではないようですので報告済みといたします。

【報告事項】

工事請負変更契約の締結について

波佐間清（教育長）

続きまして、「工事請負変更契約の締結について」、歴史博物館、お願いいたします。

町田一仁（歴史博物館館長）

歴史博物館です。よろしく申し上げます。17ページをお開きください。「工事請負変更契約の締結について」でございます。17ページの資料の1番下の欄をご覧くださいと思っております。

変更回数2回目でございます。変更理由につきましては、敷地東側階段において想定外の湧水、緑地帯の樹木根と遊歩道が干渉していることなどが判明したため、設計変更を行うとともに、工期の延伸を行ったものであります。変更請負額につきましては、8,088万1,200円でございます。前回の変更から比べますと17万640円の増額となっております。変更契約年月日は28年7月26日でございます。工期は28年2月29日から従来は28年7月27日までございましたけれども、これを28年8月19日まで延伸したものでございます。なお、工事につきましては、19日に完了いたしております。それから、開館日の11月18日につきまし

ては変更ございません。以上でございます。

波佐間清（教育長）

工事請負費変更契約の締結についての説明がございましたが、何かご意見がありましたらお願いいたします。

（ありません）

波佐間清（教育長）

ないようですので報告済みといたします。

【報告事項】

平成28年度下関市立幼稚園の園児数について

波佐間清（教育長）

それでは、こども未来部から「平成28年度下関市立幼稚園の園児数について」、お願いいたします。

川口和子（こども育成課長）

こども未来部こども育成課の川口でございます。よろしくお願いいたします。

平成28年度の市立幼稚園の園児数についてご報告をさせていただきます。お手元の資料「平成28年度下関市立幼稚園 園児数と学級編制」をご覧くださいと思います。本年4月1日現在における市立幼稚園とこども園の21園それぞれの園児数を一覧表にしております。全体的に市立幼稚園の園児数が減少傾向であることがご確認いただけるかと思っております。教育委員会で策定されました「下関市立幼稚園の適正規模・適正配置に関する基本方針」に定めています、次年度以降の園児募集の中止要件であります、新入予定園児数が10人未満となり、かつ全園児数が15人以下となる幼稚園については、生野幼稚園、向山幼稚園、室津幼稚園の3園が該当しているところです。そのため、これら3園につきましては、7月に保護者や地域住民等から意見聴取を行いまして、その結果を踏まえて、平成29年度の新入園児の募集方針を決定したところでございます。平成30年4月に開園を予定しております「本庁地区こども園」の完成に伴いまして、平成29年度末をもって閉園となる生野幼稚園、向山幼稚園に関しましては、平成30年度から本庁地区こども園、これはまだ仮称でございますけれども、に転園することの保護者同意を条件に、平成29年度も新入園児を公募することとしております。これは、近隣の私立幼稚園が3年保育を導入しているために、4歳児は途中入園扱いになるということなど、また在園児の兄弟関係とまでは言えませんが、同じような関係にある入園希望児がいることなどを考慮したものでございます。

また、今年度から近隣の黒井こども園が1号認定こどもの受け入れが可能となっている室津幼稚園に関してましては、新入園児の公募は行いません。しかしながら、在園児の兄弟関係にある入園希望児に限っては、保護者と協議の上、平成31年度までには黒井こども園等に転園することを条件に入園させることという方針とさせていただいたところでございます。平成29年度の園児募集はこの10月25日から27日の3日間を予定しております。

以上で、平成28年度下関市立幼稚園の園児数についての報告を終わらせていただきます。

波佐間清（教育長）

ただいま報告がございましたが、ご質問がありましたらお願いいたします。この表の中の黒い斜線が入っている15から21はどういう意味ですか。

川口和子（こども育成課長）

15から21というのは、すべてこども園でございます。こども園の1号部分の人数だけとい

うこととございます。

波佐間清（教育長）

豊田下こども園は「0」になっていますが、これはどういうことですか。

川口和子（こども育成課長）

豊田下こども園については、平成27年度からこども園といたしまして、当初1号の入園児がいたのですが、途中で2号、いわゆるお勤めをされだしたということで、2号のお子様に変更になりまして、現在1号認定で入園している園児がないという状況でございます。

波佐間清（教育長）

当初はいたということですか。はい、わかりました。他にどなたかご質問がありますか。よろしいでしょうか。はい、林委員。

林俊作（教育長職務代理者）

市立幼稚園がどんどん減ってきているというお話でしたが、私立は逆に預けることが増えている環境にあるのですか。それとも同じくらいの比率で、市立も5%減ったら私立も5%減るようなペースで子供の数の減少に合わせて落ちていっているのか。あるいは、私立は児童が増えて、市立が減っていくというペースなのか、どのような状況なのかを教えてください。

川口和子（こども育成課長）

私立幼稚園につきましては増えているというところまではいかないかと思いますが、それなりに横ばい状態を維持されていると思いますが、今後のことも考えられて、徐々にこども園にしていかれるところが毎年少しずつ出てきているという状況でございます。

波佐間清（教育長）

私立のこども園に移行された園を教えてください。

川口和子（こども育成課長）

私立幼稚園からこども園にということですが、幼保連携型のこども園になられたのは長府幼稚園です。それから、あとは幼稚園型のこども園でございますけども、もみじ幼稚園、それと天使幼稚園と、本年度から下関短期大学附属の第一、第二幼稚園が幼稚園型のこども園になられております。

波佐間清（教育長）

ありがとうございました。少しずつ私立もこども園に移行しているという状況であるということとあります。他にございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

ないようでしたら、「平成28年度下関市立幼稚園の園児数について」報告を終わりたいと思います。それではこども未来部どうぞご退室をお願いいたします。ありがとうございました。

【その他】

波佐間清（教育長）

それでは、日程3その他になりますが、委員の皆さん何か報告等ございますでしょうか。よろしいですか。特にございませんか。

(ありません)

波佐間清（教育長）

それではないようですので、次回の日程であります。9月の教育委員会定例会は9月30日金曜日午前、本日の日程と同じように9時半からということで、この3階中研修室にて開催予定です。委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清（教育長）

はい。ありがとうございます。

それでは引き続き、非公開案件に入りたいと思います。

【議案審議】

議案第44号 平成29年度使用下関市立小・中学校一般図書採択について

下関市教育委員会会議規則第17条ただし書きの規定により、非公表

【閉会の宣告】

波佐間清（教育長）

それでは本日の議事すべてを終了いたしました。これで定例会を終了したいと思います。お疲れでございました。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員